

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	融合身体VRによる身体図式変容の心理学的基盤解明と工学的応用
研究代表者	廣瀬 通孝 (東京大学・大学院情報理工学系研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、VR空間で複数人が一つの身体を使用し、「私」でも「我々」でもある身体運動を通して、共同行為が自らの寄与である感覚のメカニズムと身体動作に必要な潜在的知識の変容のメカニズムを明らかにしようとするものである。さらに、明らかにされたメカニズムを応用して、効率的な身体スキル伝達手法の実現を目指している。</p> <p>本研究は、複数人が仮想の身体を共有させる融合身体を用いて we-mode を研究するものであり、独創性が高い。また、VRで融合身体を使い we-mode を解明し、応用展開に進む研究計画に学術的意義が認められる。さらに、身体スキル伝達は、医療、産業技術、スポーツ等の教育現場で広く求められており、社会的な波及効果も期待できる。</p>